

互いの学びの質を高め合う協同性を育てるための支援の在り方
—個性を生かした異年齢とのかかわりの視点から—

第2学年 生活科学習指導案

1. 単元 「3年生といっしょ！なかよし たんけんたい」

2. 指導観

【こんな子どもだから】

【2年生】

○ 本学級は、2年生「生き物大好き」の学習において、プールでヤゴとりをして、ヤゴからトンボへの変化を観察して感動したり、学校横の海岸と、神社横の海岸で生物を捕まえたり砂遊びをしたりして楽しみ、二つの海の様子の違いについて気づいたりしている。校区の自然や生き物と親しむ活動をしてきて、自分たちの校区への関心が高まってきている。

3年生とのかかわりでは、1年生の時「芋祭りをしよう」の学習で現3年生に招待してもらい、みこしの動きに合わせて一緒かけ声をかけたり、ゲームや劇を楽しみ、「2年生ってすごいな」というあこがれを持っている。

日常生活で異年齢のかかわりをもっている子どもは多くはなく、クラスの三分の一ほどが数名の3年生と昼休みにボール遊びをしている程度である。

○ 課題に対して、ほとんどの子どもが意欲的に興味をもって楽しく取り組むことができる。しかし、じっくりと見たり聞いたりするなど、こだわりをもって取り組むまでにはいたっていない。体験したことからの確かな気付きをもつことができない子どももいる。友達や3年生との交流を通して気付きを高める場の設定が必要である。

【3年生】

- 元気で活発で外遊びを好む子どもが多い。下学年に対しては「一緒に楽しみたい」「こうすれば喜ぶかな」などと考えてかかわりをもつことができる。
- 課題に対して自分で考え、自分なりの方法で意欲をもって取り組んでいる。グループでインタビューの内容を考えたり、調べたことから伝えたいことをまとめたりする活動を通して、協力して活動することのよさを経験してきている。しかし、グループの中でうまく自分の思いを伝えることができなかつたり、自分の考えをもつことができない子どももいる。

【こんな教材で】

【2年生】

○ 日常生活において遊びを初めとした生活の範囲が広がり、自分たちのすむ地域への関心が高まってきている。校区の探検をし発表する活動を通して、自分たちの生活はさまざまな場所とかかわりをもっていて、支えてくれている人たちがいることに気付くことができると考えられる。また、めあてをもって繰り返し探検活動を行うことで、さまざまな人や場所、物に触れながら地域のことに興味をもち、そのよさにも気付くことができる。さらに、探検を通して出会う、さまざまな人とかわることで、地域に親しみ楽しく生活していこうという意欲をもつことができる教材である。

【3年生】

○ 総合「校区のよさを見つけよう」の学習を生かし、自分が調べたことをわかりやすく下学年に教えることで、自分が分かっていること、まだ調べていないことなどを確認できる。

【こんな子どもに】

【2年生】

- 校区の自然や人々・施設と進んでかかわり、自分の生活する地域に親しみをもつことができる子ども
- 自分たちの校区をさまざまな面からみつめ、こだわりをもって学習することができる子ども
- 活動を通しての気づきを、自分なりの方法で表現して伝えることができる子ども
- 自分たちの地域が、さまざまな人たちによって支えられていることに気づき、大切にしていこうとする子ども
- 交流した3年生と、これからの学校生活でもかかわりを広げていくことができる子ども

【3年生】

- これまでに学習したことを、2年生にわかりやすく教えたり、一緒に楽しく行動したりすることができる子ども
- 自分が分かっていることと、まだ分からないことをはっきりさせることができる子ども

【こんな方法で】

- ① 互いが認め合い、高まっていくような協同性を育てる活動づくり
 - 意識が連続する課題設定の工夫
 - ・ 探検したことを発表し合ったり、見つけたものを貼ったりできるコーナーを作り、子どもたち同士が情報交換できるようにする。
 - ・ 一人一人の気づきを丁寧に見取り個別に支援を行い、次の活動へのつながりをもてるようにする。
 - 関係を生み出すグループ構成の在り方
 - ・ 子どもたちの興味や関心に合わせて少人数の同質グループを構成し、めあてを明確化し、学び合いがうまれやすい場の設定をする。
- ② 異年齢とのかかわらせ方
 - 異年齢とどこでどのようにかかわらせるか学習過程の工夫
 - ・ 校区の様子をある程度探検して知った時に、3年生に、自分が教えたことや探検ルートなどについて簡単に紹介してもらおう。なにげなく知っていることについて、もっと知りたいという意欲や目的をもつことができるようにする。
- ③ 学びの質をとらえる方法
 - 子どもの言葉・活動・振り返りカードなどからの見取り
 - ・ 活動中の子どものつぶやきや、振り返りカードの子どもの言葉を毎時間整理し、子どもの学びの姿を個別に記録する。

3. 単元の目標

- 自分たちの生活は地域のさまざまな場所とかかわりを持ち、さまざまな人に支えられていることに気付くことができる。
- 探検場所の様子や発見したことを自分なりの方法で表現することができる。
- 地域を身近に感じ、親しみをもつことができる。

4. 指導計画

段階	学習活動と内容	教師の支援	期待できる姿・表現
つかむ2	○ 校区について自分の知っていることや好きなところをみんなに紹介する。	○ 子どもの経験や願いを事前に把握し、子どもが紹介したことについて問いかけ	・ここは、バッタやカマキリがいっぱいいるんだよ。 ・ここでいつも野球の練習

		たり，認めたりする言葉かけができるようにしておく。	をしているよ。 ・このお店の人はやさしいよ。 【行動・発言・記録分析】
さぐる 11	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探検に出かける。 <ul style="list-style-type: none"> ・探検の計画を立てる。 ・自然や人とかかわる。 ・探検したことを絵や文で表現し発表し合う。 ○ 探検に出かける。 <ul style="list-style-type: none"> ・3年生から一緒に探検する場所の紹介をしてもらい，探検の計画を立てる。 ・3年生と一緒に自然や人とかかわる。(本時) ・探検したことを絵や文で表現し発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 共通体験の中から発見や感動が生まれるよう，クラス単位での探検の計画を立てる。 ○ 探検したい場所，調べたいことなどについて話し合い，めあてを明確化させる。 ○ 建物や物だけでなく，地域の人にも目が向くように声かけをしていく。 ○ 3年生との活動に意欲をもつように写真や実物を用いて紹介をもらう。 ○ 探検の目的ごとに3年生と合同の同質グループを作り，交流が生まれるようにする。 ○ 探検したい場所，調べたいことなどについて話し合い，めあてを明確化させる。 ○ 建物や物だけでなく，地域の人にも目が向くように声かけをしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りの時しかきたことのない神社だけど，おもしろいものがたくさんあるね。 ・木がいっぱい。なんの木だろう。お世話をしている人がいるのかな。 ・この砂は，ふつうの砂じゃないよ。なくんだよ。この砂のあるところと一緒に行ってみようよ。 (3年) ・あれはきっと神社の海の砂だね。どうしてなくのかな。 ・このおじぞうさまはどこにあるか知ってますか。 (3年) ・どこかで見たことがあるおじぞうさまだけど，どこにあったかな。 ・どうしてあっちの道がせまくなってるのかわかったよ。 ・おじぞうさまをきれいに掃除してくれる人がいるんだって。 【行動・発言・記録分析】
ふりかえる 3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探検を振り返り，地域のよさや気づいたことを交流し合う。 ○ 「わたしのお気に入りの場所」について作文を書き，3年生へ送る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの探検の振り返りができるように，カードをもとに気づきの交流ができるようにする。 ○ 校区のよさが伝わり，今後の生活に生かすことができるような内容になるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探検に行ってきたたくさんわかったよ。仲良くなった人もいるよ。 ・神社の木のことを書いてみよう。

5. 本時

平成19年 10月 24日(水)

校区内

6. 本時の目標

- 【2年生】 疑問に思ったことや調べたいことを探検し、楽しみながら発見したり、3年生や地域の人とかかわったりすることができる。
- 【3年生】 2年生に調べたことを教えることで、自分の成長に気づいたり、これから調べることを見つけたりすることができる。

7. 本時指導の考え方

子どもたちはこれまでの探検活動で、友達の進める好きな場所にみんなで行き、校区のだいたいの様子や主な施設に気づいている。また、1回目の探検で「次はもっとこうしたい」「これはどうなっているのかな」と願いをもったり、疑問をもったりしている。

その後、3年生に、校区の中で一緒に探検する場所の紹介をしてもらい、探検の目的や意欲をもたせたい。探検のめあてをもとに3年生とグループをつくり、探検でどんなことをしたいのか一人一人のめあてをもつようにする。

本時は、自分が探検したい場所に3年生と一緒に行き、追求する時間である。行きたい場所、探検の目的ごとに3年生と一緒に少人数グループをつくり、交流がうまれやすいようにする。2年生は3年生から教えてもらうことで、知りたかったことがわかったり、今まで気づかなかったことを発見したりできる。3年生は2年生に教えることで、学びが深まったり、自分が知らないことに気づいたりできると考えられる。教師も子どもとともに活動し、感動や発見を共有できるようにする。2年生と3年生の探検のめあてを補助簿に整理し、賞賛したり励ましたり、活動が停滞した場合には方向付けたり声かけをし、気が深まり広がるようにしたい。

8. 準備

- 【子ども】 赤白帽子、自分が必要だと思ったもの(例 ビニール袋・瓶など)
- 【教師】 テープレコーダー、救急箱

9. 本時の展開

学 習 内 容	指導上の留意点
<p>1. 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「なかよしたんけんたい」になって、どっどっはっ見しよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に探検をするときの安全指導をしておく。 ○ 目的を把握し、3年生と一緒に同質グループをつくっておく。 ○ 探検のめあてをはっきりもたせておく。 ○ 校区の中で発見してほしいものの写真や実物をいくつか準備し、探検の意欲を高めるようにする。 ○ グループで一緒に活動すること、発見したことや疑問に思ったことなど、伝え合うように確認する。 ○ 子どもの行動・発言を観察し、個に応じた言葉かけをしながら、教師も学びが共有できるようにする。
<p>2. グループごとに探検に出かける。</p>	
<p>3. 発見や感動を伝えながら活動する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>【3年生】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>【2年生】</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>この辺の道がこんなにせまくてごちゃごちゃしてるのは、どろぼうがきても逃げにくいよ</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>迷路みたいでおもしろい道だね。</p> </div> </div>	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループの活動場所を事前に把握しておく。

うにって昔の人が考えたからだよ。

このおじぞうさまは、お掃除をしたり、花を生けたりしている人がいるんだよ。

ここは今の六年生が植えた松の木だよ。

ほら。この砂，きゅっきゅって音がするよ。

一緒におまいりしようよ。おまいりの仕方を教えて。

たくさんあるこの木はなあに。

どうして松の木がこんなにたくさんあるの。

この海は，何回もきたことあるよ。どうやったら音がするの。

4. 今日の学習を振り返る。

※ めあてをもって探検し，発見することができる。

【行動・発言・記録分析】

※ 自分の発見を友達に知らせたり，友達の発見を聞くことができる。

【行動・発言・記録分析】

※ 今日の活動を広がり，探検活動を続けていきたいという意欲をもつことができる。

【行動・発言・記録分析】